SCHMERSAL

JP 取扱説明書 . . . . . 1～6頁
原文翻訳：本日本語訳は、Schmersal本社のドイツ語原文を基に作成されたものであり、翻訳上の疑義がある場合、原文及び英文のみが有効となります。

目的と用途

取り付けの前に、使用者情報を読んで下さい。技術データについては、総合カタログまたはSE製品情報をご参照下さい。 セーフティエッジの現場でのアプリケーション・耐久性への要求事項の適合を確認して下さい。SE製品情報での耐久性・選択方法に関する情報を参照下さい。

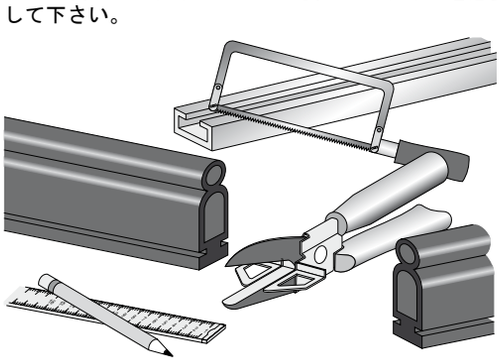
信号出力とオプション品のセーフティリレーユニットが、EN ISO 13856-2に従ったセーフティエッジシステムを形成しています。

この取扱説明書を熟読し、機器の据付及び運転の前に、労働安全及び事故予防のための適用可能な全規定について確認出来る人のみが取り付け・操作が許可されます。VDEおよび該当規格を考慮して下さい。

取り付け

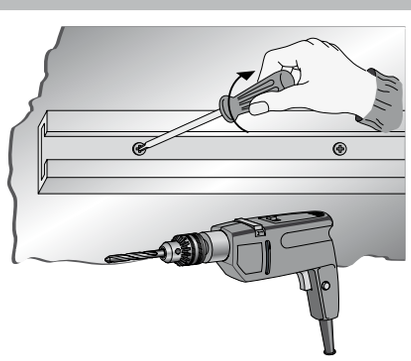
セーフティエッジ（信号発生器）の取り付け位置に制約はありません。

1.ゴム製プロファイルとアルミ製プロファイルを必要な長さに切断して下さい。

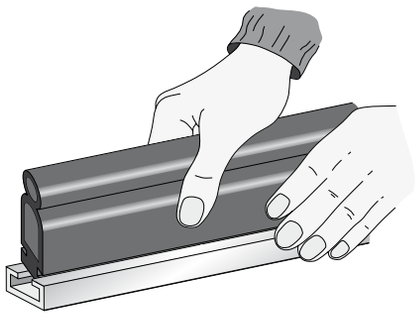


2. 必要であれば、アルミ製プロファイルからセーフティエッジを少し外し、固定穴を開けて下さい。；取付け穴の最大間隔は70 mm;Ø 3 … 6 mmの丸平頭ネジあるいは丸皿頭ネジでアルミ製プロファイル で固定して下さい。

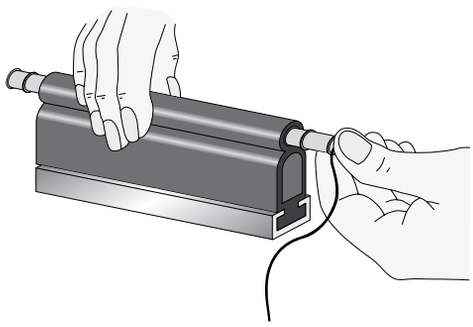
プロファイルは、平らな面に取り付けられなければなりません。操作中には、曲げたり、ねじらないでください。



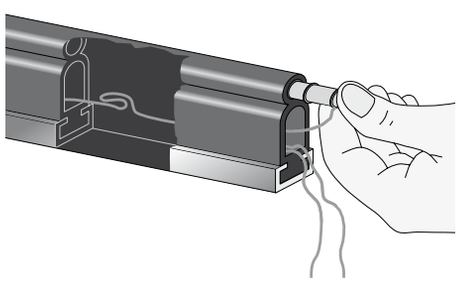
3. ゴム製プロファイルは、アルミ製プロファイル内にあります。洗剤は、軟化剤として使用可能となります。六角ネジ取り付け時には、ゴム製プロファイルは、滑り落ち保護をして下さい。



4. 投光器SE-T（灰色）と受光器SE-R（黒色）をゴム製プロファイル内に圧入して下さい。



5. ケーブルは一方向からの引き出されるので、投光器と受光器では、ケーブルの長さが異なります。 反対側に置かれたユニットのケーブルを、ゴム製プロファイルの穴を通して引っ張って下さい。（場合によっては、ケーブル引き出し工具SE-WAを使用して下さい。）エンドキャップを挿入して下さい。



6. （信号出力）セーフティエッジの取り付け後、SEセーフティリレーユニットに接続して下さい。セーフティエッジの接続・機能テストは、取扱説明書SE-..Cに従って行われます。

保全

悪環境下で使用する際には、システム全体の機能に対して定期的な保全を行ってください汚れが著しい際には、洗浄して下さい。（取り付け・試験手順参照）

洗剤
- 通常汚染：水など
- 強度汚染：アルコール類など
- 使用不可：アセトン、ベンジン、その他の炭化水素系

08.2014 / Ausgabe C-JP

付録

取付・テスト記録

SCHMERSAL

取付・テスト記録

セーフティエッジシステムのテスト
セーフティエッジシステムは、機械の通常保全・立上げ時に、以下の点を確認して下さい。

機械 / 製造名 _____

運転開始日 _____

組立実施者の名前 _____

セーフティリレーユニット _____

プロファイル、信号発生器 _____

投光器 _____

受光器 _____

アルミ製プロファイル _____

1. 信号発生器の目視確認

1. 信号発生器の目視確認：適正な操作を阻害する損傷がないことを確認するための信号発生器表面と接続の目視確認 ☐

2. 信号伝達部の目視確認

損傷・変形のあるケーブル配線とその接続の確認 ☐

3. 信号評価部の目視確認

エンクロージャーの損傷と電気配線の確認 ☐

4. セーフティエッジの機能テスト

信号出力は複数の位置で行われます。セーフティエッジの検知は、有効な動作面で行われます。LED制御は、セーフティリレーユニット内で行われます。機械は、危険発生時には再起動してはなりません。 ☐

このデータを機械の文書に挿入して下さい。

_____

日付／署名

K. A. Schmersal GmbH & Co. KG
Möddinghofe 30, D-42279 Wuppertal
Postfach 24 02 63, D-42232 Wuppertal

Telefon +49-(0)202-6474-0
Telefax +49-(0)202-6474-100
E-Mail: info@schmersal.com
Internet: http://www.schmersal.com